とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0343
施設名	子供の家　こすずめ保育園
施設所在地	東京都調布市上石原1-20-16
法人名	社会福祉法人　こすずめ会

１．活動のテーマ

＜テーマ＞

光と色の変化、物と光の関係

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

テラスから部屋に差し込む光で七夕制作が壁に影となり映った。子どもたちはその様子を見て様々なものに例えたり、反射する様子を不思議そうに見ていた。光の不思議さに興味関心が更にもてるようにしたいと思いテーマとして設定した。

２．活動スケジュール

8月　・テラスで色水を作り反射する光のあそび

9月　・スライムあそび　　・押し入れの中で懐中電灯を使った星探しあそび

10月　・太陽光での影絵あそび

12月～3月　・スクリーン、書画カメラを使い影絵あそび、映像をみる、人形あそび

３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・食紅　　・絵具　　・プロジェクター

・テーブル　　・ペットボトル　　・スクリーン

・シャボン液　　・懐中電灯　　・書画カメラ

・洗濯のり　　・ipad

４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・テラスで一人ずつ食紅を使い色水を作る。太陽光が壁やテーブルに反射し様子を観察する。自身の反射した色や形を互いに伝え合った。
・絵具や食紅を混ぜたスライム作りでは空にかざしてみて色の見え方について比較した。
・押し入れに入り、懐中電灯を使い星探しや影絵遊びをした。
・スクリーン、書画カメラを使い大きく動きのある影絵遊びをした。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）
色水を作り色が反射するのをみて綺麗だと喜ぶ。流れ星や花火といった表現をしていた。日が差し込む部屋で色水を置く場所を変え時間帯で見え方の違いを発見する。スクリーンを使った影絵遊びでは遠近法で見える自分の姿に魔法みたいと話す姿もあった。その言葉からスクリーン上での人形遊びがはじまった。影の動きに夢中になっていた。






５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

子どもたちの興味関心から始まった取り組みの中で、自分たちで発見する楽しさから学びが生まれるのだと改めて感じた。見通しをもち、こうあるであろう展開を予測した枠の中での保育には意欲はなかなか生まれず、子どもたちから発信されたものに共感し探究することで
自信をもって自分を表現する姿もみられた。
今後も継続出来る環境を整え、興味を広げていけたらと思う。